

令和2年5月28日

令和元年度決算の概要

学校法人北野学園の決算数字の詳細は、計算書類に記載していますが、決算の概要についてご説明いたします。

(1) 資金収支計算書

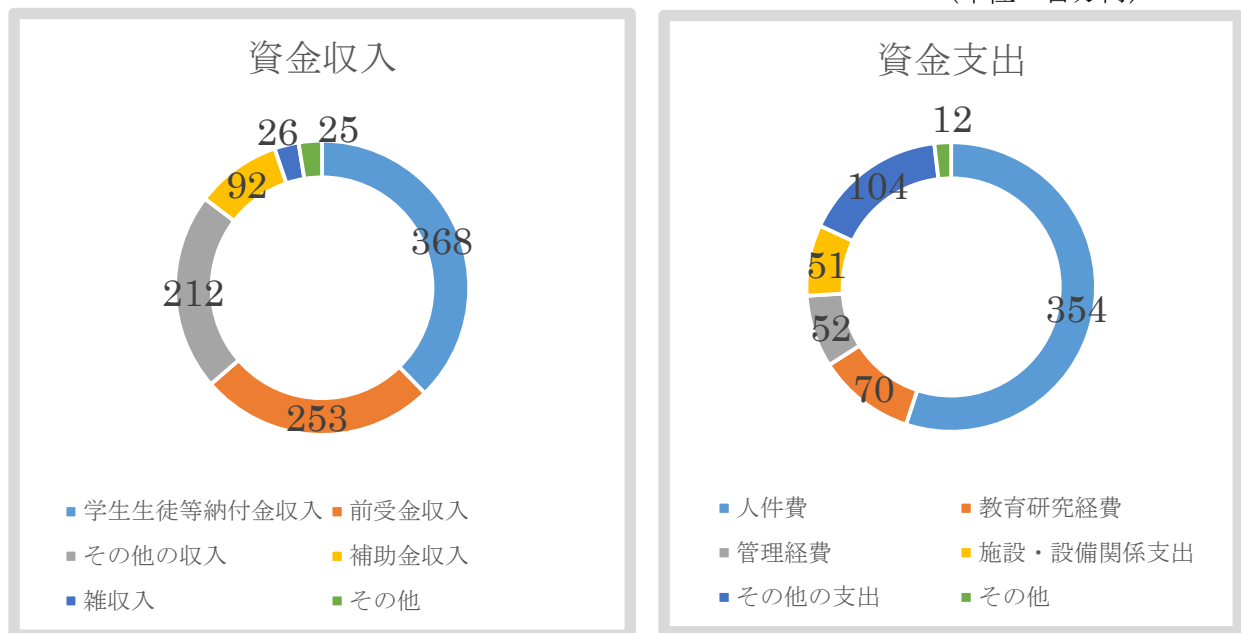
本年度の資金収入の総額は6億75百万円、資金支出の総額は6億17百万円で、収支は58百万円の収入超過となり、翌年度繰越支払資金は7億67百万円となりました。

以下、収入の部と支出の部に分けまして、予算比で増減要因を説明いたします。

収入の部 総収入は予算比1億52百万円増加の6億75百万円で、主な増減要因は、雑収入の退職金財団交付金収入21百万円、その他収入の第3号基本引当特定資産取崩収入1億円、貸付金回収収入1億円等が増加しました。一方、補助金収入が13百万円、資金収入調整勘定の期末未収金収入47百万円等が減少しました。

支出の部 総支出は予算比94百万円増加の6億17百万円で、主な増減要因は、人件費支出10百万円、施設関係支出16百万円、その他の支出の貸付金支払支出1億円等が増加しました。一方、管理経費支出3百万円、設備関係支出7百万円、資金支出調整勘定23百万円等が減少しました。

(単位 百万円)



資金収入調整勘定 Δ 301

期末未払金 Δ 47

資金支出調整勘定 Δ 26

期末未払金 Δ 26

前期末前受金 △ 2 5 4

(2) 活動区分資金収支計算書

活動区分収支計算書は、教育活動による資金収支、施設整備等活動による資金収支、その

他の活動による資金収支で構成されています。

本年度の各々の資金収支差額は、

教育活動資金収支差額 9 1 5 千円の支出超過

施設整備等活動資金収支差額 3 5 百万円の支出超過

その他の活動資金収支差額は 9 4 百万円の収入超過となりました。

その結果、支払資金の増減額は5 7 百万円の増加となりました。

(単位 百万円)

科目	金額
教育活動資金収入計	4 9 2
教育活動資金支出計	4 7 7
差引	1 5
調整勘定等	△ 1 6
教育活動資金収支差額	0
施設設備等活動資金収入計	1 5
施設設備等活動資金支出計	5 1
施設設備等活動資金収支差額	△ 3 5
その他の活動資金収入計	2 0 5
その他の活動資金支出計	1 1 1
その他の活動資金収支差額	9 4
支払資金の増減額	5 7

(3) 事業活動資金収支計算書

事業活動収支は、①教育活動収支②教育活動外収支③特別収支の3つの活動区分で構成され、各活動区分の収支差額の合計となる基本金組入前当年度収支差額を計上したうえで、前年度からの繰越収支差額と当年度の基本金組入額・基本金取崩額を調整し、翌年度繰越収支差額を計上しています。

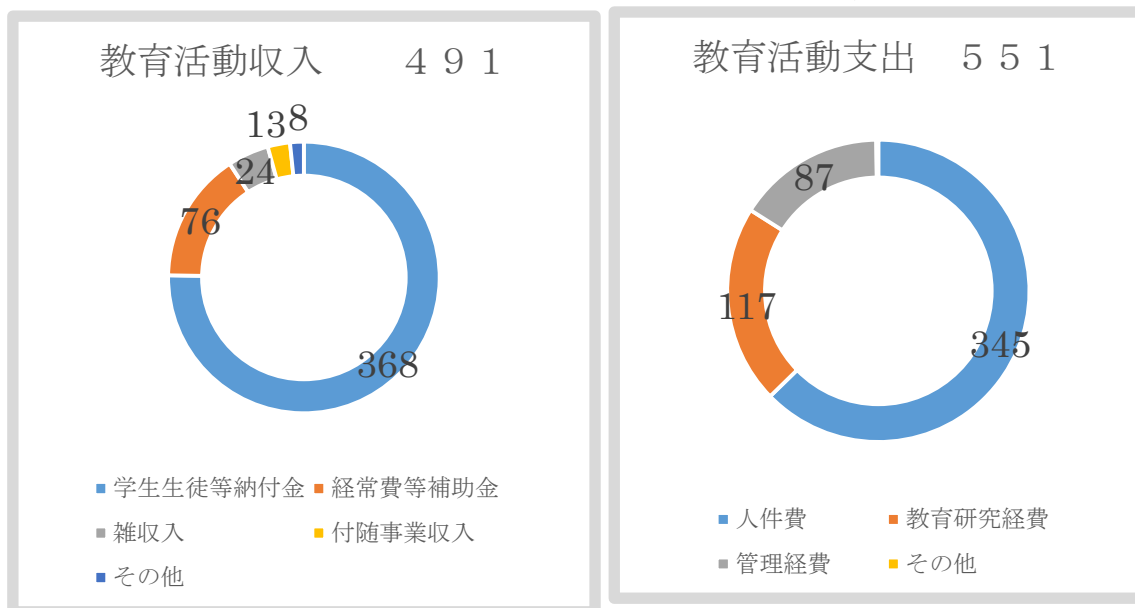
①教育活動収支

教育活動収入は、雑収入の退職金財団交付金が2 1 百万円増加、経常費等補助金1 4 百万円減少しましたが、予算比5 百万円増加の4 億9 1 百万円となりました。

教育活動支出は、人件費1 百万、教育研究経費3 百万円増加等があり、予算比5 百万円増加の5 億5 1 百万円となりました。

その結果、教育活動収支差額は、6 0 百万円の支出超過となりました。

(単位 百万円)



②教育活動外収支

その他の受取利息・配当金収入1百万円増加しまして、教育活動外収支差額は1百万円の収入超過となりました。

③特別収支

現物寄附1百万円、施設設備補助金15百万円増加しまして、特別収支差額は17百万円の収入超過となりました。

上記①から③により、基本金組入前当年度収支差額は41百万円の支出超過となりました。

(単位 百万円)

	令和元年予算	令和元年実績	差額
教育活動収入	485	491	△5
教育活動支出	545	551	△5
教育活動収支差額	△60	△60	0
教育活動外収支差額	0	1	△1
経常収支差額	△60	△58	△1
特別収支差額	18	17	1
基本金組入前収支差額	△42	△41	0
基本金組入額	△30	△34	4
当年度収支差額	△72	△76	4
基本金取崩額	0	102	△102
翌年度繰越収支差額	△1,832	△1,852	20

(4) 貸借対照表

令和元年度末の資産は28億40百万円で、前年度比36百万円減少しました。主な増減要因は、減価償却等により有形固定資産29百万円、第3号基本金引当特定資産取崩1億円減少しましたが、流動資産で現金預金57百万円、未収入金37百万円増加したことによります。

負債は4億76百万円で、前年度比5百万円増加しました。主な増減要因は、長期借入金9百万円、退職給与引当金6百万円減少しましたが、未払金22百万円増加したことによります。

一方、純資産は23億63百万円となり、前年度比41百万円の減少となりました。

「資産の部」

■有形固定資産

(本年度末 2,012百万円 前年度末 2,041百万円 29百万円減少)

新規に取得した資産は、

(1) 建物

- ・短大本館エアコン更新 11百万円
- ・図書館耐震化工事 29百万円

(2) 教育研究用機器備品

- ・PC、プロジェクター、書架、スクリーン等 1百万円

(3) 管理用機器備品

- ・リトグラフ、AED等 1百万円

(4) 車両

- ・幼稚園園バス買替 7百万円

(5) 図書

3百万円

■特定資産

(本年度末 0円 前年度末 100百万円 100百万円減少)

第3号基本金引当特定資産100百万を取崩によるものです。

■流動資産

(本年度末 818百万円 前年度末 723百万円 94百万円増加)

・現金・預金

(本年度末 767百万円 前年度末 709百万円 57百万円増加)

第3号基本金取崩によるものです。

・未収入金

(本年度末 47百万円 前年度末 9百万円 37百万円増加)

退職者に係る退職金財団等からの交付金のうち、未収になっている金額の増加による

ものです。

「負債の部」

■固定負債

(本年度末 186百万円 前年度末 203百万円 16百万円減少)
長期借入金の減少、退職給与引当金の減少によるものです。

■流動負債

(本年度末 290百万円 前年度末 268百万円 21百万円増加)
未払金（退職金）の増加によるものです。

「純資産の部」

■基本金

(本年度末 4,216百万円 前年度末 4,283百万円 67百万円減少)
新規取得資産の組入額以上に、取崩額が発生したことによるものです。

■翌年度繰越収支差額

(本年度末 △1,852百万円 前年度末 △1,878百万円)
事業活動収支計算書の項をご参照ください。

(単位 百万円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	2,021	2,152	△131
有形固定資産	2,012	2,041	△29
特定資産	0	100	△100
流動資産	818	723	94
現金・預金	767	709	57
未収入金	47	9	37
資産の部合計	2,840	2,876	△36
固定負債	186	203	△16
長期借入金	72	82	△10
退職給与引当金	114	120	△6
流動負債	290	268	21
未払金	26	3	22
負債の部合計	476	471	5
基本金	4,216	4,283	△67
繰越収支差額	△1,852	△1,878	25
純資産の部合計	2,363	2,404	△41